

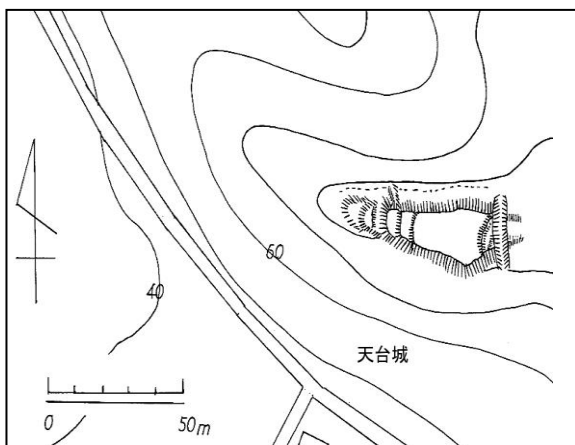
てんだいじょう  
No.56 天台城 (別名 五十里城)

舞鶴市字天台小字日南他

- ・遺構—曲輪、堀切、土塁、堀切
- ・占地—尾根 ・標高—85m ・比高—40m
- ・遺跡地図番号—170

この城は天台集落の北に位置する。主郭の東の尾根は、幅4m程の堀切で遮断し、掘り残しの低土塁を敷設し、東側の防禦としている。主郭は東西30m南北15m程の規模で、西の尾根先方向に二段の小規模な曲輪が続き、その先は幅2m程の堀切で遮断している。北と南は急斜面となっている。天台集落との関係がありそうな城館である。

城主は近世の地誌でも不明としている。



うえやすむかいやまじょう  
No.57 上安向山城

舞鶴市字上安小字向山

- ・遺構名—曲輪、堅堀 ・占地—山頂
- ・標高—70m ・比高—55m
- ・遺跡地図番号—166

この城は、昭和三団地の西方に位置する。近年、昭和三団地の開発によって遺構の一部が破壊され全貌が明らかではないが、大きくても長さ50m程度と小規模である。尾根筋には堀切による遮断がなく、北尾根斜面に堅堀が一本残っているだけである。遺構の一部が破壊されているため、残った部分からの考察は難しい。

城主に関する記録や伝承はない。

